

## 令和6(2024)年度事業計画

### I 事業方針

会は、日本における競技スポーツとしての障害者クライミングを統括し、パラクライミング競技の普及を通じたスポーツ文化の普及と振興を図ることを目的としている。日本代表選手が国際大会でより多くのメダルを獲得できる事を柱とし事業を実施していく。

具体的には選手の競技力向上や未来のメダリストの発掘・育成を目的とした質の高い国内大会を実施していく。また国際大会参加に向けての事務手続きや情報提供、日本代表選手を対象とした研修やミーティングを実施し、国際大会で選手が実力を発揮できるようサポートをしていく。パラクライミングはパラスポーツの特性上、医科学面でのサポートも重要になってくる。国際大会・国内大会における医療従事者の派遣や国内大会でのクラス分けの実施・アンチドーピング研修を実施していき、選手のサポートを行なっていく。その他の取り組みとして、協会ホームページ・SNS等を用いたの大会結果やパラクライミングに関する投稿を掲載する事により、パラクライミングの普及・啓発に努めていく。

以上事業方針を掲げていき、将来的にパラリンピック競技となる事を見据えた事業運営を行っていく。

### II 事業内容

2024年4月1日~2025年3月31日までの事業予定について記す。

競技会運営事業(競技委員会 普及・指導委員会)

1 2023年パラクライミングジャパンシリーズ

強化事業(強化委員会・事務局)

1 日本代表選手の選考・派遣

2 国際大会に向けての研修・ミーティング

3 代表選手強化合宿

4 代表選手の派遣

- ・ IFSC パラクライミングワールドカップ
- ・ IFSC パラクライミング世界選手権大会

パラクライミング医科学事業(パラクライミング医科学サポート委員会)

- 1 アンチドーピング研修会
- 2 国内大会クラス分け
- 3 選手メディカルサポート
  - ・ 国内大会の派遣（救護）
  - ・ 国際大会派遣(クラス分け・身体ケアサポート)

共益事業

広報等

- ・ ホームページ・SNS のタイムリーな更新
- ・ パラクライミングに関する啓発

会議等

- 1 総会
- 2 理事会 原則として毎月第 3 水曜日

総務等

- 1 議事録の整備
- 2 選手・サイトガイド登録管理

財政等

- 1 外部資金の導入
  - ・ 助成金の獲得
- 2 2024 年度予算案の作成